

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 避難者情報の把握に関する調査研究事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 地域支援係 電話番号：058-272-1111(内2747)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,678 千円 (前年度予算額：5,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
要求額	9,678	0	0	0	0	0	0	0	9,678
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

コロナ禍において、各自治体は、避難所だけでなく、自宅の安全な場所、親せき宅、ホテルなど、避難先の多様化を推奨し、令和2年7月豪雨災害における住民避難行動実態調査においても、避難所以外への避難者がいたことが明らかとなっている。

以前は避難所中心に組み立てられていた避難者対策について、今後、避難所以外の避難者（分散避難者）の存在も考慮して考え直す必要が生じている。

このため、分散避難者の把握について、今年度、情報通信技術を活用した手法の調査研究を行い、住民発信による分散避難者の把握が可能な方法を調査・分析した。

被災者支援の仕組みを構築するため、今後、支援の必要性が高い要配慮者や施設を対象とした調査が必要となる。

(2) 事業内容

○要配慮者利用施設及び避難行動要支援者を対象とした調査（5市町村）

- ・要配慮者利用施設
- ・避難行動要支援者（一般住民も含む）

○とりまとめ

- ・検証及び調査にかかる会議の開催(3回)
- ・令和3年度の調査研究、情報収集ツールの仕様、検証内容等を取りまとめ

(3) 県負担・補助率の考え方

令和2年7月豪雨や令和3年8月の大雨における課題を踏まえ、県の負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	9,678	
合計	9,678	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・防災基本計画（令和3年5月 中央防災会議決定）
地方公共団体は、平常時から、被災者支援の仕組みを担当する部局を明確化し、被災者支援の仕組みの整備等に努めるものとする（35ページ 第2編 各災害に共通する対策編 第1章 災害予防）

(2) 国・他県の状況

内閣府や他県においても、分散避難者の具体的な支援にまで踏み込んだ検討がなされていない。

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

令和2年7月豪雨や令和3年8月の大雨における課題を踏まえ、県の負担は妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和4年度中に、市町村の参考資料として調査研究した手法及び検討内容を示す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

目標を示す指標には適さない

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	<p>コロナ禍において、避難のあり方が変化し、住民自らが避難先を発信し、行政が集約する仕組みを早急に検討し、構築する必要があるが、現状として、既存の仕組みで対応している事例がない</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	<p>既存の仕組みで対応していない内容について検討を進めており、避難対策としての事業成果はあがっている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	<p>オンライン方式による会議を実施することにより、事業の実施について効率を図る</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 本事業がより効果的に生かされるために、市町村が導入するための費用について支援の検討が必要

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	

県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例：人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
